

経営比較分析表（令和2年度決算）

青森県 板柳町

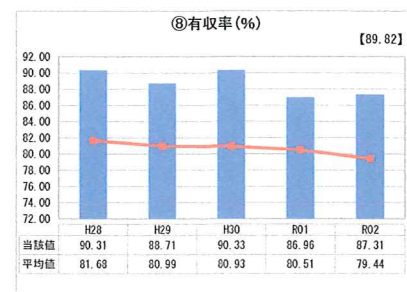
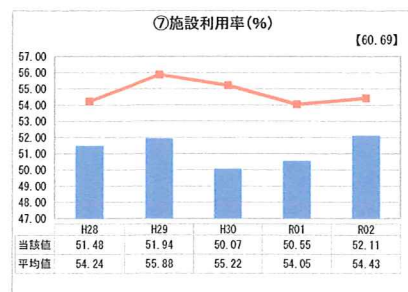
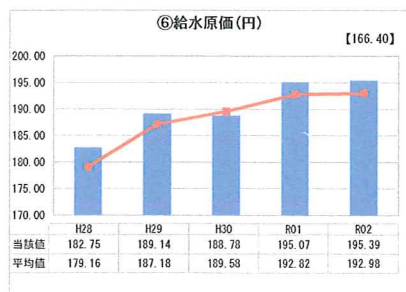
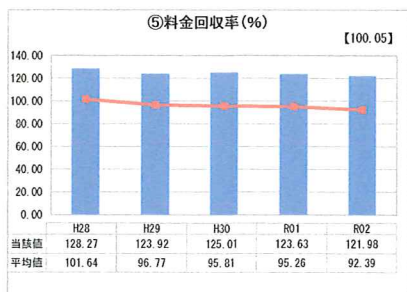
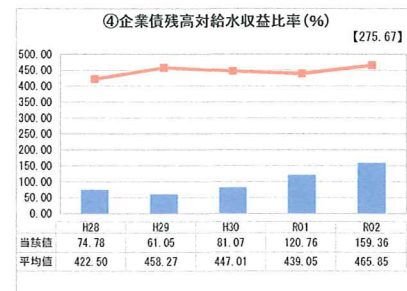
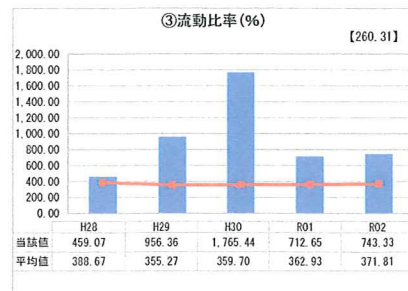
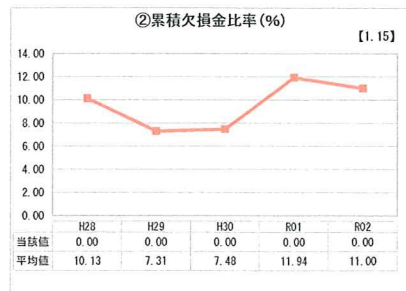
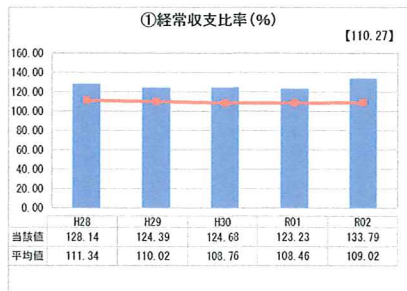
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.51	97.65	4,925	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,211	41.88	315.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,801	41.81	306.17

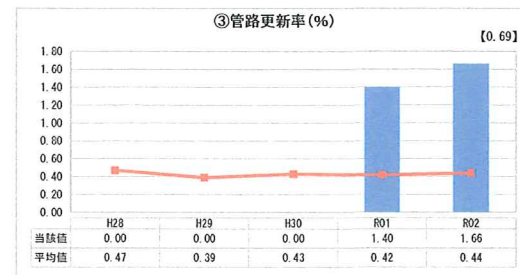
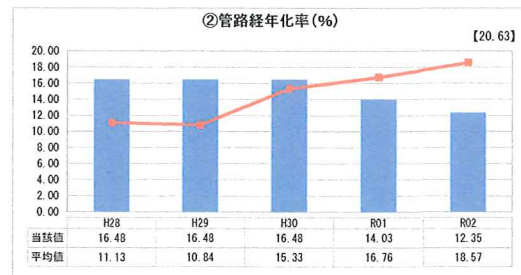
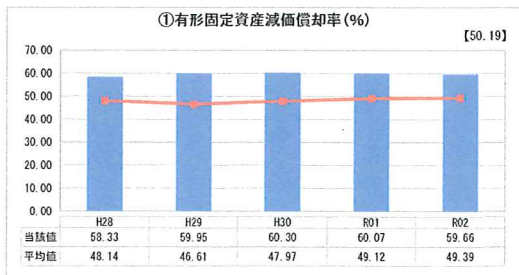
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営健全化を図ったことで、平成20年度以降は常に黒字であり、経常収支比率は100%を大きく上回っている。流動比率は平成30年と比較すると低下しているものの、現金預金の増加及び企業債償還元金の減少により、類似団体よりも高く推移している。

なお、平成29年度から当該年度まで老朽管の更新工事に伴う新規の企業債を発行しているが、低利負担及び経費削減等により損益計算書上の収益に影響は出ていない。

しかし、昭和63年に建設された配水場の施設利用率については、給水人口が減少傾向であることから、今後は水需要の減少を想定し中長期的な経営計画を再編する必要がある。

2. 老朽化の状況について

経営健全化を優先し、平成16年度以降は一部を除き更新工事を中断した。そのため管路老朽化が進行していたが、現在は国庫補助制度(交付金)を導入し更新工事を進めたことで、管路更新率は類似団体平均値を上回っている。

今後も経営に負担をかけず適正に管路更新を進めていく。

全体総括

現在のところ、経営状況は比較的安定しているが、給水人口の減少に伴う料金収入の減少、施設及び管路等の更新工事を遂行するなかで、将来的に安全、安定、効率的な事業を運営する手法等を十分に検討していく必要がある。